

ショートコント「名探偵コナンの世界に転生してしまった」

れじ

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

会話文だけのショートコント風ギャグ。

なんて恐ろしい世界に転生してしまったんだ……。

目 次

ショートコント「名探偵コナンの世界に転生してしまった」

|

1

# ショートコント 「名探偵コナンの世界に転生してしまった」

「なんということだ……死んだと思つたら異世界転生してしまった。米花町があるとかここは名探偵コナンの世界に違いない。事件に巻き込まれたらどうしよう」

「えつ！ もしかしてあなたも名探偵コナンを知つているんですか？！」

「あ、あなたも転生者なんですか？」

「そうなんですよ！ いやあ、まさかコナンのファンだつたからって100年前に逆行転生するとは思わないですよね！」

「ひやくねんまえ」

「あつ、もしかして設定詳しく知らないタイプですか？ 名探偵コナンは平成から令和の頃に活躍した推理小説家の工藤優作とその息子で探偵をしていた工藤新一を元ネタにしているんですよ。今は平成だからちようどその時代なんですよ！」

「えつ、元ネタ？ 工藤新一実在する？」

「そりゃあ実在しますよ。ちょっと古典に入るのはいい、図書館に工藤優作の作品はだいたいおいてあつたでしよう」

「別の意味で恐ろしい世界に生まれてしまつた気がするぞ……。いや、待てよ。あの、すいません！ 元ネタがあるとはいえ、實際にはあんな量の事件は起きていないですよね？」

「そりやあ、あれはマンガですからね。短期間にあんなに事件が起きたなんて現実じゃありえないですよ」

「ですよね！ ……これは助かつたかもしねないぞ」

「あれは平成と令和の間に実際に起きた事件を元ネタに使つてるだけですから。数十年分の事件が一年間に凝縮されるとヤバいですね」「終わつた……ヤバい動機の犯人も、春の季語の爆発も、ややこしいトリックを使う犯人も実在してしまうんだア……」

「さすがに事件の関係者や犯人の名前はプライバシーの問題もあるか

ら実名は使つてないらしいですよ」

「最悪だ、事件回避の難易度まで上げてきてやがる……」

「でも史実を元ネタにしてる割に、毒薬で子供になつちゃうのはなかなか攻めた設定使つてますよね」

「あつ、そこは流石にフイクションだよね助かつた。そうですよね、腕時計型麻酔銃とかキック力増強シユーズとかもヤバいですよね」

「えつ、知らないんですか？　どつちも警察官の制式装備じやないですか。この時代だとまだないんですけど」

「あるのかよ」

「まあ、拳銃の発砲とは違つてニュースでも全然話題にならないですからね。警視庁24時みたいな番組だと割とでてるんですけど、興味ない人は知らないかあ」

「めちゃくちゃ興味あるけど怖すぎて聞きたくない……。そういうネタを使つてるつてことは、作者は警察に詳しいんですかね」

「あー、ペンネーム使つて本名伏せてるからオタク以外にはあんまり知られてないけど、作者は工藤新一の子孫にあたるとか。事件の資料は実家にあつたものを使つているらしいです。本人にも警察についてがあるんじゃないかもとも言われていますね」

「事件が実際にあつたという信頼度がマシマシじやん地獄かよ」

「工藤新一の子孫だつていうのも元々は明かさないつもりだつたらしいんですけど、眠りの小五郎のファンから苦情がきたから公表したんですね。ちょっとアレな扱いですけど、本人の子孫が愛を込めてネタにしてるとなると文句も言いづらいし」

「ヒエッ、眠りの小五郎が実在してるし、しつつ新一と蘭ねーちゃんが結婚してる。公式カプのネタバレを食らつた気分」

「僕も眠りの小五郎のファンもあるし、せつかくこの時代にいるんだから推理するところリアルで見たいなあ。ものは相談なんですが、ちょっとなんかいい感じのトリックとかで事件起こしたりできませんか？」

「ヤバいこのままでは米花町にありがちな謎の動機で面倒なトリックの事件を起こすタイプの犯人にされてしまう」

「あつ、でも推理を間近で見るなら犯人になつた方がいいのかな。被害者役の方お願ひしようかなあ」

「唐突な生命の危機。こいつは間違いなく未来の米花町の住民ですわ」

「大丈夫です、本当に殺したりしないんで。動機がバレないよう口封じとかしないんで安心してください」

「嘘だこの世界は狂言誘拐が本当の事件になる世界なんだ騙されんぞ！」

「おまわりさん、助けておまわりさーん！」